

楽友会通信 No.43

2010/12/20 指笛楽友会発行

b ♪♪♪♪♪♪ ♯ ♪♪♪♪♪♪ b ♪♪♪♪♪♪ ♯ ♪♪♪♪♪♪

*** 目次 ***

-頁-

1. 指笛音楽創始者 田村大三先生 追悼演奏会
～76周年記念 指笛音楽研究発表会～ が開催されました ……有吉憲行 -1-
2. 追悼演奏会・発表会のプログラムと出演者の一言集(別冊) ……有吉憲行 -1-
3. 指笛追悼演奏会オープニング 斎藤指笛楽友会会長ご挨拶 ……斎藤秀元 -4-
4. シリーズ「私と指笛」心に響く音楽を ……………小林信也 -5-
5. 事務局からのお知らせ …………… -7-

1. 指笛音楽創始者 田村大三先生 追悼演奏会

～76周年記念 指笛音楽研究発表会～ が開催されました

去る11月20日(土) 練馬文化センター小ホールにおいて、田村大三先生の追悼演奏会とその門下生による指笛音楽76周年記念研究発表会が開催され無事に終了しました。これも田村ファミリーをはじめ楽友会の皆様方と多くの方々の御尽力があったからこそと感謝申し上げます。

きっと天に召された田村大三先生は我々の演奏を見守られて、成功を喜ばれて居られることでしょう。皆様方の御支援と御協力に厚くお礼を申し上げます。

2. 追悼演奏会・発表会のプログラムと出演者の一言集(別冊)

今回もプログラムと出演者の一言集は綺麗なカラー印刷によるものですが、

この楽友会通信では普通のモノコピーにして別冊として添付していますのでご覧ください。プログラムは第一部、第二部、第三部と分かれていて、その後に出演者の一言集が掲載されています。

なおプログラムには別紙「田村大三先生の歩まれた道」と7月20日付けの新生誌記事「眠りに入る幼児の清い世界へ」田村静海著も挿入されましたので、お読みください。

(注)指笛ホームページの楽友会通信ではこの別冊がカラーでご覧になれます。

<http://fingerflute.music.cocacn.jp/yubibue/tusin/happyo2010/program.pdf>

別紙「田村大三先生の歩まれた道」

<http://fingerflute.music.cocacn.jp/yubibue/tusin/happyo2010/ayumi.pdf>

新生誌記事「眠りに入る幼児の清い世界へ」田村静海

http://www.sinsekai.org/shinsekai/images/shinsei_33_sum.pdf

第一部 オープニング 幕開きのオープニングでは出演者全員が舞台へ出て、花で飾られた田村大三先生の遺影のそばに立ち、コンヴァース作曲「いつくしみ深き」讃美歌を中村さんの指揮により、心のこもった指笛演奏をいたしました。



写真：コンヴァース作曲「いつくしみ深き」讃美歌を指笛演奏する楽友会会員

引き続き指笛楽友会の齋藤会長より会場のお客様へご挨拶がありました。
このご挨拶後、オープニング セレモニーは終わりました。

第一部は最初に船田弘子さんが手話で歌う「アメージング・グレイス」から演奏に入り、17人の出演となりました。

第二部 幕開きはステージ向かって左側に男性会員 5 名、右側に女性会員 5 名が並び、会場内容席側にも指笛楽友会の男性数名が前方・中間・後方の通路に立って、中村さんの指揮のもと指笛を合同演奏し、「紅葉(もみじ)」、「勝利の歌」、「クワイ河マーチ」を次々に指笛演奏して会場内は盛り上がっていききました。こうして第二部は最初に村山壮人さんの指笛「若者たち」から始まり、11人の演奏となりました。

第三部 田村先生ファミリーによる演奏に入りました。

まず松島恵さんのご挨拶があつて、指笛独奏(アヴェマリア、村の娘)がありました。続いて田村静海先生のソプラノ独唱(愛の讃歌、ある晴れた日に)があり、石原泉先生のピアノ独奏(別れの曲)、石原翠さんのヴァイオリン独奏(イタリア組曲)と続きましたが、何れも見事な演奏と歌でした。会場の皆様方から沢山の拍手を頂きました。

特にご家族で静海先生の歌と恵さんの指笛(小鳥の鳴き声)によるエーデルワイスが共演された時には、とても素晴らしいと大きな拍手が沸き起こり、会場内にどよめきを感じました。

ファミリー部の終りに故田村大三先生の指笛「神の子羊」(55周年記念映像)が上映されて、厳かな音色が会場内に響きわたり皆様は静に聴き入りました。上映後は拍手喝采でした。

最後に「指笛を讃える」と「故郷」はファミリーの歌と共に出演者全員が指笛演奏して追悼会・発表会は無事に幕を閉じました。

「**出演者の一言集**」 添付別冊の指笛発表会プログラムの次に一言集がありません。これをお読みしますと各出演者の大三先生への感謝の思い、選んだ曲への思い、あるいはそれぞれの指笛音楽を楽しみ奏でたい気持ちが伝わってきます。

3. 指笛追悼演奏会オープニング 斎藤指笛楽友会会長のご挨拶

本日は田村大三先生の追悼の会に、ご来場賜りまして誠にありがとうございます。心よりお礼を申し上げます。

ご存知のように田村先生が亡くなられた時には、三大新聞は元より多くの新聞が報道致しました。多分大三先生の指笛は、全国津々浦々で演じられていたことと思います。そういうことで皆様も多分大三先生の亡くなられたことを既にご存知だったと思いますが、4月24日の日に昇天なさいました。私達の敬愛する大三先生がこの世からあの世へと行かれたのですが、先生の御霊は今日はこの辺を舞っているのではないかと思うのですね。門下生たちが上手くできるかなと、心配されていらっしゃるかも知れません。皆様方の拍手が多ければ、きっと先生も喜ばれることと思います。

私達は大三先生の功績は沢山あるけれども大きくは二つあるのではないかと考えています。一つは指笛というものを音楽の域まで高めてくださったこと。単なる指笛ではなく、指笛音楽の領域まで高めてくださったのが大三先生なのです。私達はそれを学んだことによって、本日この舞台に出演できますし、日頃は多くの方々と喜びを分かち合っていくことができます。

さてもう一つの功績は、大三先生が敬虔なるクリスチャンであったことに加えて、先生が15歳の折に上京して印刷学校に入学した時、その創設者であり社会教育家の先駆者としてご活躍されていた後藤静香氏から多大な影響を受けたとのこと。熱心なクリスチャンであることと後藤先生の思想から学んだことをご自分の哲学・信念・人生の大事なものとし、指笛を通して奉仕活動を実に沢山されたことです。

ここで大三先生のエピソードを一つ紹介したいと思います。先生は小・中・高等学校は勿論、病院もそして社会福祉施設も、少年院も刑務所までも、ありとあらゆる所を指笛でもって訪問して、皆様に感動を与えていました。

その先生がある時、東京の山谷に行き、労務者達の前で指笛の演奏をしたそ

うです。大きな拍手があって演奏が終わった時、その労務者達がカンパを集めて先生の所に持って来て言ったそうです。これを車のガソリン代の足しにして、大阪の釜が崎の仲間達にも指笛を聴かせてあげてほしいと。先生は勿論、釜が崎まで行き、そして釜が崎の人達にも多大な感動を与えたのでした。

先生の指笛はいつも人の心に大きな力を与えています。私達もその力をいただきました。私達の技量はまだまだ先生にはとても及ばないのですが、本日も一生懸命演奏して、大三先生の後を目指して行きたいと思います。

どうぞ今後とも、指笛音楽へのご支援を賜りますよう宜しくお願いします。

4. シリーズ「私と指笛」 心に響く音楽を 楽友会会員 小林信也

指笛に出会ったのは20数年前のことです。田村先生が埼玉県新座市スポーツ少年団・西堀サッカーズへ指笛指導と演奏にお見えになられた時でした。子供たち約50名とそのご両親等の前で、指笛指導や演奏をして頂きました。この時はただ感心し、ビックリするだけの私でしたが、今日のように自分が指笛演奏できるとは夢にも思いませんでした。

西堀サッカーズの監督はこの時以来、田村大三先生に教わった指笛(ピー)を吹いて子供たちを集合させていました。その監督は今では引退しています。

指笛を本格的に始める前に、村山さんに誘われて指笛楽友会70周年記念旅行へ参加しました。この新潟県津南町への旅行で、田村大三先生と静海先生、楽友会の皆さまと初めて親しく出会うことが出来ました。

この旅行で私の心の中に深く残っている言葉があります。それは津南町立中学校・吹奏楽部の生徒さんたちへ田村大三先生がご挨拶された折に、「相手の心に響く音楽を奏でてください」と大きな声でおっしゃった言葉です。

村山壮人さんに師事して一年半を過ぎた頃から指笛仲間が集まり、この地域に指笛を広める為に倶楽部を設立しようではないか。倶楽部名は、楽しくするには、会員はどうしようか等と話合いました。幸いにもこの地域では名高い野火止

用水路があります。この野火止を頂いて、野火止倶楽部にしようと決め、会員は村山、小林、村山さんのお孫さん3人。計5名にて誕生しました。現在では専属ピアニストの余越先生及び15名の会員と増えてきて、楽しみながら指笛の普及と演奏活動をしています。

今倶楽部は誕生して5年になります。地域の老人福祉施設、地域が主催する行事、祭り、児童館等々に出演して活躍しています。指笛発表会を年一回主催しています。2008年4月の第一回発表会は田村先生ご夫妻にご出席頂きまして感激しました。その後毎回楽友会の皆様にはご支援頂き有難うございます。

「相手の心に響く音楽を奏でてください」を心にして指笛を地域に広め、楽友会の皆様と長い活動を頑張っていきたいと思えます。

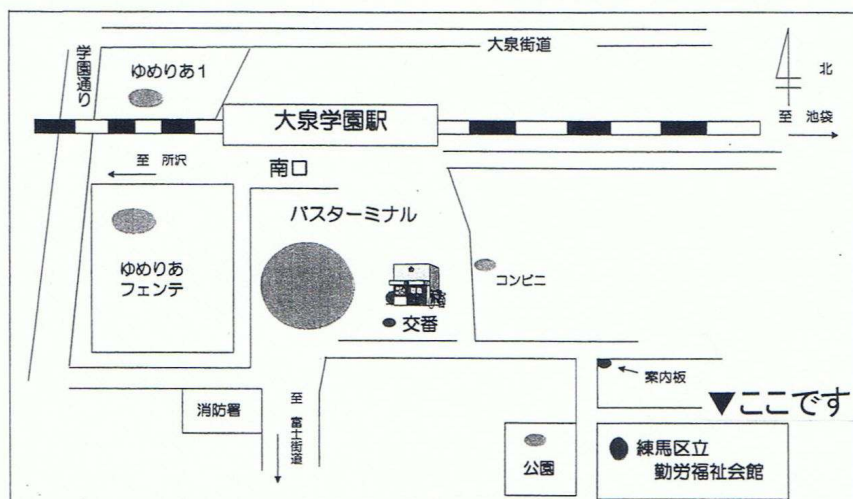
5. 事務局からのお知らせ

(1) 総会・新年会・追悼演奏会の反省会を開催

日付：2011年(平成23年)1月10日(月)成人の日

会場：練馬区立勤労福祉会館内 地図をご覧ください。

練馬区東大泉 5-40-36 TEL:03-3923-5511



西武池袋線『大泉学園駅』南口より徒歩3分

時間：10:30～11:30 二階の音楽室で楽友会役員の役員会をします。

時間：11:30～15:00 一階の「味三昧(あじざんまい)」

TEL:03-5933-3888 で総会と新年会及び追悼演奏会の反省会を開催します。

会費：4,000円(予定)です。

出席・欠席の連絡：楽友会会員は同封の「葉書」に出席か欠席を○で囲み、住所・氏名をご記入の上、ご投函ください。なお、欠席される方はこの「葉書」にある委任状へもご記入をお願い致します。

平成23年1月6日必着です。

(2) 2011年の77周年指笛音楽研究発表会 日時と会場決定

期日：2011年9月10日(土) 9:00～17:00

会場：練馬文化センター 小ホール(つつじホール、592席)

(注)皆様の予定表にご記入ください。

*** 編集後記**（有吉憲行）

この楽友会通信43号は田村大三先生追悼演奏会及び76周年記念指笛音楽研究発表会の特集号となりました。皆様のご協力により予定通り12月に発行できることに感謝申し上げます。

また小林さんには指笛との出会いについて興味あるお話を寄稿して頂きました。お礼申し上げます。

なお別冊の「プログラムと出演者の一言集」は竹中さん・武井さん・栗田さんのご努力による力作でした。デザインが素晴らしく、アート紙にきれいなカラー印刷による仕上がりでした。感謝いたします。

今回楽友会及び関係者の皆様方の一致協力により追悼演奏会と発表会が無事終了できたことを、田村大三先生はきっと喜ばれていらっしゃることでしょう。ありがとうございました。

これからも皆で協力して、より良い指笛楽友会へと明るく発展させましょう。